

国立国語研究所学術情報リポジトリ

作文の使用語彙から

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2020-06-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 茂呂, 雄二 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00002878

〈報告3〉

作文の使用語彙から

所員 茂呂雄二

はじめに

一般に能力について述べる時と同様に、漢字が読める、漢字が書けるということ述べる時、それがどのような場面か、どのような目的なのかを考慮する必要がある。それを機能的な環境と呼ぶならば、語もその環境のひとつの構成因といえよう。ここでは、国語研究所ですすめてきた児童の作文使用語彙調査を報告し、漢字と語彙の問題について考えてみたい。

語彙調査の目的

児童の語彙使用を、作文を資料とした語彙計量調査から明らかにする。具体的には①基礎資料としての語彙表を作成する。②語彙表に記載のデータならびに付加情報をもとにして、それに基づく児童の使用語（彙）の分類をする。

方法

作文：市単位発行の文集作文。作文の授業で副教材として使用される目的で編集されている。10誌、各学年360-400編（5・6年生は360編）。

単位：国立国語研究所アルファ単位（国立国語研究所、1955；文節に近い）。

同語異語判別：国立国語研究所（1955、1962）に基本的に従った（文節から付属語を除いたものに近い）。

この語彙調査での結果を次に報告するが、その分析の視点は以下の通りである。

1. 児童の語彙使用実態の概括。
2. 品詞による使用語彙の特徴付け。

3. 共用語（複数の学年で使用された語）と非共用語（ある学年だけに出現した語）による使用語彙の特徴付け。

4. 他の標準資料（阪本教育基本語彙）との比較。

結果および考察

語彙量：Tab.1 に示したように全体で延べ約47万語、異なり約2万1千語を得た。延べならびに、異なりとも学年ともに増加した。この表に示した数字は、人名・地名・方言などおよび児童の誤用や印刷の誤りのためにもとの語を特定できなかったものを除いてある。以下の分析もこれらを除いた一般語を対象としている。

学年間の一致度：Tab.2 に示したのは学年間の一致の度合いであるが、それぞれの学年は高い一致を示し、また隣り合う学年ほど高い一致度となる。学年が離れるにつれて、一致度は小さくなる。

Tab.1 語彙量

学年	延 べ	異なり
1年	41491	4170
2年	62015	5674
3年	76969	6954
4年	84956	8059
5年	100002	9559
6年	108284	11031
全体	473717	20830

Tab.2 学年間の一致度（延べによる）

	2年	3年	4年	5年	6年
1年	.793	.756	.713	.661	.613
2年		.808	.761	.712	.660
3年			.795	.752	.698
4年				.791	.745
5年					.789

品詞別の構成比：1年から6年までの全体の品詞構成を見ると (Tab.3・Tab.4)，延べでは名詞・動詞が大半を占めており、一方異なりでは延べに比べて動詞の占める割合が低くなる。この特徴は雑誌・教科書などの他の語彙資料の品詞構成比と類似している。

学年ごとの品詞の構成比も全体のそれに基本的に類似したものとなっているが、品詞によっては学年とともに増加する傾向をみせるものもある。連体詞にこの傾向が顕著であるが、これは文法および文体的な面の語彙面への反映であると考えられる。

Tab.3 品詞別の構成比-% (延べ)

品詞	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全体
名詞	46.6	45.7	45.6	45.8	45.1	46.5	45.9
動詞	37.5	37.3	36.7	36.5	36.6	34.7	36.3
形容詞	5.2	5.1	5.1	5.1	4.9	5.0	5.0
形容動詞	1.3	1.3	1.4	1.4	1.5	1.8	1.5
連体詞	1.2	1.4	1.7	1.9	2.3	2.5	2.0
副詞	6.1	6.7	7.1	7.0	7.3	7.2	7.0
接続詞	1.7	1.9	1.9	1.7	1.8	1.8	1.8
感動詞	0.5	0.5	0.5	0.6	0.5	0.4	0.5

Tab.4 品詞別の構成比-% (異なり)

品詞	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全体
名詞	64.2	63.8	63.6	64.4	64.9	64.7	69.5
動詞	20.7	20.8	21.3	21.6	21.9	21.9	18.7
形容詞	3.5	3.1	3.1	3.2	2.7	2.7	2.3
形容動詞	1.5	1.4	1.7	1.8	1.9	2.5	1.7
連体詞	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2
副詞	8.3	9.1	8.6	7.5	7.2	6.9	6.9
接続詞	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.2
感動詞	1.1	1.0	0.9	0.8	0.7	0.6	0.6

共用語と非共用語：ここではある学年だけに出現した語彙を非共用語、複数の学年に共通して現れる語彙を共用語として定め、延べ、異なり別の頻度および割合をTab.5 に示した。6学年全体では、異なりの半数以上が特徴語によって占められるが(55.2%)、延べの場合、その割合は3.4%にしかない。このことは非共用語の中の多くが高々1回しか用いられない語であることを示している。一方共用語については、幾つの学年で共通しているかによって、それぞれの度数と割合を示したが、異なりの9.4%を占めるだけの全学年共用語が、延べの82%になることが注目される。また、より多くの学年に共通して現れる語のほうが延べに占める割合が高い。

Tab.5 非共用語と共用語 - () は%

	延べ	異なり
全語彙	473717	20830
非共用語	16279(3.4)	11452(55.2)
1年	705(0.1)	516(2.5)
2年	1258(0.3)	942(4.5)
3年	1839(0.4)	1350(6.5)
4年	2622(0.6)	1847(8.9)
5年	3804(0.8)	2712(13.1)
6年	6051(1.3)	4085(19.7)
共用語	457438(96.6)	9378(45.2)
2学年	11837(2.5)	3330(16.1)
3学年	11989(2.5)	1780(8.6)
4学年	16291(3.4)	1294(6.2)
5学年	25179(5.3)	1025(4.9)
全学年	392142(82.8)	1949(9.4)

Tab.6 およびTab.7 には品詞と共用・非共用の関係を示した。非共用語の多くが名詞と動詞であることがわかる。副詞も非共用語に多いが、これは擬音語・擬態語によるものと考えられる。

Tab.8 には使用頻度順位と共用・非共用の関係を示した。使用頻度順位が下がるにつれて全学年共用語が減少し、それ以外のものが増えることがわかる。

Appendix 1 および Appendix 2 には共用語と非共用語の例を掲げた。共用語の上位100位までと、非共用語の各学年上位30語までを掲げてある。

Tab.6 非共用語と品詞（異なり）

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
名詞	410	713	1014	1431	2026	2977
動詞	60	116	186	268	482	708
形容詞	5	16	27	48	44	75
形容動詞		1	6	16	21	107
連体詞		1			2	5
副詞	60	89	108	80	130	197
接続詞			1	1		4
感動詞	2	6	8	3	7	12

Tab.7 共用語と品詞（異なり）

	2学年	3学年	4学年	5学年	全学年
名詞	2251	1161	829	612	1053
動詞	650	393	252	245	540
形容詞	69	34	31	27	105
形容動詞	75	32	31	18	44
連体詞	2	3	1	3	14
副詞	267	138	137	98	147
接続詞	3	4	3	8	19
感動詞	13	15	10	14	25

Tab.8 使用頻度の各段階での非共用・共用語（全体）

	非 共 用						共 用				
	1	2	3	4	5	6	2	3	4	5	全学年
1										2	98
500								2	1	6	91
1000									4	12	84
1500								5	3	23	69
2000							3	5	18	35	39
2500						2	1	9	24	37	27
3000				2		1	5	10	40	32	10
3500		1		1	1	5	5	18	38	27	4
4000					2	3	19	30	30	15	1

他の語彙資料との比較：この調査の方法の有効性を確認するには他の語彙資料との付き合い合わせが必要となる。Tab.9 には阪本教育基本語彙（阪本，1984）との比較を示した。使用頻度の高い段階ほど阪本Aランク（小学校低学年で指導すべきとされた語）が多く、使用頻度が低くなるにつれて、Bランク（小学校高学年で指導すべきとされた語彙）およびCランク（中学校で指導されるべき語彙）が増加するという傾向にある。小学校低・中・高学年では上に述べた傾向について類似しているが、学年があがるにつれて、BおよびCランクの占める割合が高くなる傾向にある。

Tab.9 使用頻度の各段階での阪本ランク

順位	1・2年			3・4年			5・6年		
	A	B	C	A	B	C	A	B	C
1	90	1		92	1		92	1	
500	79	3		77	2		76	2	
1000	63	5		67	7	2	63	5	2
1500	51	9	4	52	12	2	48	18	5
2000	50	7	4	39	23	6	37	9	5
2500	47	14	1	43	13	2	31	25	6
3000	40	6	1	49	7	3	42	17	
3500	37	4	5	51	9	2	10	26	3
4000	34	17	7	11	22	2	17	19	3

Tab.10 学年ごとの阪本ランク

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
阪本A	2009	2338	2561	2670	2761	2826
A 1	1543	1749	1870	1950	1990	2054
2	466	589	691	720	771	772
阪本B	296	366	726	973	1330	1572
B 1	123	98	368	540	735	910
2	98	153	212	270	379	427
3	75	115	146	163	216	235
阪本C	88	122	168	250	391	579
C 1	21	36	45	86	144	225
2	22	21	50	60	96	161
3	18	24	28	53	78	96
4	27	41	45	51	73	97
その他	1786	2701	3499	4166	5077	6054

Tab.11 非共用語と阪本ランク（異なり）

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
阪本A	30	55	79	84	96	191
A 1	12	29	38	43	42	101
2	18	26	41	41	54	90
阪本B	29	63	108	167	300	508
B 1	5	25	35	72	139	273
2	15	13	41	54	102	149
3	9	25	32	41	59	86
阪本C	10	23	42	76	161	340
C 1	1	5	9	22	49	129
2	2	3	12	16	38	97
3	4	5	8	21	40	59
4	3	10	13	17	34	55
その他	447	801	1121	1520	2155	3046

Tab.12 共用語と阪本ランク

	2学年	3学年	4学年	5学年	全学年
阪本A	459	422	457	467	1379
A 1	231	233	271	303	1187
2	228	189	186	164	192
阪本B	628	343	223	124	73
B 1	321	203	122	75	43
2	189	93	69	26	17
3	118	47	32	23	13
阪本C	167	75	53	23	10
C 1	56	32	19	8	3
2	49	19	9	9	1
3	29	12	10	4	1
4	33	12	15	2	5
その他	2076	940	561	411	487

引用文献

国立国語研究所 1955 婦人雑誌の用語

国立国語研究所 1962 雑誌90種の用語・用字

阪本一郎 1984 新教育基本語彙 学芸図書

Appendix 1 共用語—上位100語

いる (居る) -1*	くれる-26	かお (顔) -51	これ-76
する	いえ (家)	とる (取る)	おおきい (大きい)
いう (言う)	でも (接続詞)	わかる (分かる)	おおきな (大きな)
わたし (私)	かえる (帰る)	はやい	それから
なる (成る)	もう	いま (今)	きょう (今日)
くる (来る)	この	もつ (持つ)	だす (出す)
おもう (思う)	でる (出る)	あげる (上げる)	はしる (走る)
いく (行く)	そして	みず (水)	あし (足)
こと (事)	はいる (入る)	つくる (作る)	きもち (気持ち)
ぼく (僕)	できる	つぎ (次)	かんがえる (考える)
ある (在, 有る)	たべる (食べる)	すぐ (直ぐ)	こんど (今度)
みる (見る)	まえ (前)	うえ (上)	つける (付ける)
とき (時)	もの (物)	がっこう (学校)	まだ
おかあさん	それ	おとうと (弟)	いもうと (妹)
おしま	つく (付く)	こえ (声)	あさ (朝)
その	せんせい (先生)	め (目)	かう (買う)
よい (良い)	すこし (少し)	もらう	おく (置く)
ひと (人)	ほう (方)	おばあさん	どう
ない (無い)	まき (聞く)	じぶん (自分)	かく (書く)
やる (中)	また	き (気)	ほんとう (本当)
なか	ひ (日)	あそぶ (遊ぶ)	ちいさい (小さい)
とても	いれる (入れる)	のる (乗る)	たくさん
みんな (皆)	よく	うれしい (嬉しい)	きれい
おとうさん	て (手)	みえる (見える)	ころ
ところ (所)	なに (何)	あと (後)	こんな

*順位

Appendix 2 非共用語の例

1 年	2 年	3 年
ヨウシュヤマゴボウ	ドジョウ	ほねつぎ
スジコ	ワカメ	ぶんし (分子)
おおおばあちゃん	さむがる	あほやく
しゅうさい	ピュン	パパラ (副)
まとめがかり	ひこうきとび	きんぎょねぶた
サンタクロース	シヨクヨウガエル	カンビョウ
デート	ひっさん	キアゲハ
ラジコンカー	ゲンゴロ	ほうさん
まきはつ	ずるこみ	にじゅうさんど
まきつく	イースト	はんでん
まきざんカード	さむがりや	だいち
ななじゅう (七十)	チュクチュク	オジギソウ
チュ	だいち	チャーチャー
ヨット	にじゅうまわし	ヤッケ
シャクトリムシ	イボタ	うでたてふせ
わたぐも	ホタル	しょうぼう
あかちゃんぶた	ネオダス	パバダー (副)
じゅうにひき	おやすみ	てんま
にじゅうとび	いねはこび	いえん
ほこうき (歩行器)	セールスマン	ほうせい
れんらくちょう	にだい (荷台)	ふくぶくろ
いろみず	ひゃっこ (百個)	ひゃっぴき (百匹)
ナマズ	パイパー	のび (伸び)
ごじっこ (五十個)	おきあがりこぼし	オスドリ
がくげいはっぴょうかい	パンこうじょう	りゅうさんどう
ウグイ	ほれる (掘れる)	しょくえん
デメキン	ものおき	はやだま (早玉)
あたり (当たり)	むしずき	パッジ
おかあさんぶた	アイススケート	ワッペン
アカムシ	もえうつ	コンバイン

4 年

5 年

6 年

かいづか
 ベニスズメ
 まめでんきゅう
 くうちゅうさかあがり
 たねいも
 ふしおり (節織り)
 うすじ (薄地)
 シグナル
 たからばこ
 でんきけいさんき
 ヨウそえき
 キャラコ
 カラーテレビ
 げんぱく
 てんかぶつ
 メリヤス
 はなあな
 たたりやしごむ
 ねりけしごむ
 シルバーシート
 スプレー
 くそばばあ
 すのこ
 どんぶり
 にもの
 しどういん
 えんぴつけずり
 がいろじゅ
 カモメ
 えのぐばこ

かみえ (紙絵)
 コスズメ
 おおおじいちゃん
 アイヌ
 ちそう (地層)
 すいぎんとう
 てんしゅ (天守)
 ぼつぼつする
 ネムノキ
 ステレオ
 ジガバチ
 ミス (失敗)
 コネズミ
 せんぱづる
 サープ
 うきくさ
 スポーツテスト
 しゅし (種子)
 ベトナム
 どぶいた
 ヒグラシ
 ホルマリン
 えんしゅつがかり
 おじや
 かたより
 バインダー
 ひょうぐしや
 じがく (自学)
 きゅうぎたいかい
 ろっコース

シラサギ
 がいらいご
 くろめがね
 こま
 こくようせき
 メスバト
 しんりん
 ひこく
 せいぶつ
 ありそい
 くりかえし
 ははおや
 うちゅうひこうし
 かがやき
 ろくねんかん
 カタカナ
 ほんげんあい
 マア (マアイイヤ)
 じんるい
 だいぶつ
 ながなわ (長縄)
 がっぺい
 バタフライ
 しゅうい
 スコアラー
 ぎちゅう
 としよいいん
 マンモス
 グリーンスクール